

論文概要の和文様式

雑誌におけるタイトル: Self-reported eating speed and incidence of gestational diabetes mellitus: the Japan Environment and Children's Study

和文タイトル: 食べる速さと妊娠糖尿病の発症との関連: エコチル調査

ユニットセンター(UC)等名: 大阪UC

サブユニットセンター(SUC)名:

発表雑誌名: Nutrients

年: 2020 月: 5 巻: 12 頁: 1296

筆頭著者名: 董加毅

所属UC名: 大阪UC

目的:

本研究は食べる速さと妊娠糖尿病の発症との関連について縦断的に分析することを目的とした。

方法:

エコチル調査全国の参加者(母親)を対象に、妊娠初期のアンケートから食べる速さを4つのグループに分け、食べる速度が遅い人と比べ、その他のグループ(普通、やや速い、非常に速い)での妊娠糖尿病の発症リスクを調べた。年齢、喫煙、飲酒、学歴、職業、妊娠前の体格指数、うつ病、巨大児出産の既往歴、出産経歴、身体活動、食事を交絡因子として調整した。

結果:

食べる速度が遅い人と比べ、普通、やや速い、非常に速い人では妊娠糖尿病の多変量調整オッズ比(95%信頼区間)がそれぞれ1.08 (0.94, 1.24)、1.11 (0.97, 1.28)、1.29 (1.05, 1.59)であった。しかし、さらに妊娠前の体格指数を調整したところ、有意な関連を認められなくなった。

考察:(研究の限界を含める)

本研究は観察研究のため、未観測交絡変数の影響は排除できない。また、食べる速さは自己申告であるため、測定誤差の影響も考慮しなければならない。

結論:

速く食べる習慣は肥満を介して、妊娠糖尿病の発症リスクを高める可能性が示された。